KK(高知県工業会) ホットコーナー 2018年7月号(2P版)

6/4 県内公立高校の就職指導担当者と就職情報交換会を開催 工業会(人材確保委員会)・県教委高等学校課・県商工政策課 連携

●会場の限界となる会員企業23社が参加

本年度の交換会は会場の限界23社が参加。お断りをした企業もありました。第1部では採用状況や 求める人材像などについて4分間のプレゼンを行い、第2部の個別面談では5時終了のぎりぎりまで目 当ての先生との面談を行うなど活発な交換会となりました。







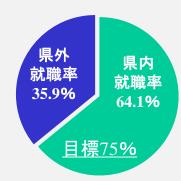
参加企業:(株)泉井鐵工所、井上石灰工業(株)、(株)栄光工業、(株)エスイージー、(株) S K K、エム・セテック(株) 高知工場、(株)オルタステクノロジー、兼松エンジニアリング(株)、(株)カマハラ鋳鋼所、(株)技研製作所、高知 機型工業(株)、(株)高知丸高、(株)サヤカ、(有)繁春鉄工所、新高知重工(株)、ツカサ重機(株)、(株)特殊製鋼所、(株)土 佐電子、(株)トミナガ、 パシフィックソフトウエア開発(株)、(有)松村鉄工所、 ミロクグループ、(株)山崎技研

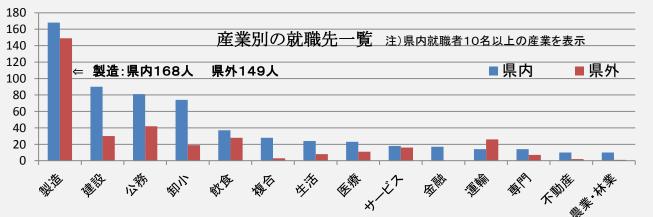
■ 平成29年度 県内公立高校卒業生の進路状況について

※下記データ:高知県就職対策連絡協議会

	卒業者数	進学者数	就職者数	進路未定者等
H29年度	4,346	3,138	973	235

県内 就職者数	県外 就職者数			
624 (608)	349 (391)			





()はH28年度

■事業戦略策定の促進(2)

事業戦略策定の手引きから 一 策定に取り組んだきっかけは? 一

高知県産業振興センターが作成しました「事業戦略策定の手引き」の "企業の声(P13)" から2社の声を引用し、またアンケート調査結果(P1)の一部を下記に掲載しました。

(株)トミナガ 代表取締役 島田 誠氏

事業の見える化でベクトルを合わせ目標達成へ

○取り組むきっかけ

- ・先代の高度成長期の頃はがむしゃらに仕事を することで大きく成長することができたが、 時代も変わり、ただ仕事をこなすだけでは利 益を生み成長することが難しくなってきた。
- ・そこで、内部で事業計画を立てて進めてきていたが、客観的にアドバイスしていただけることを期待して策定に取り組んだ。

○策定に取り組んでみて

・以前は、仕事を無計画で進めていた部分もありましたが、事業戦略を立て進めることで、 幹部社員も徐々に理解を示すなど互いのベクトルを合わせる良い機会となった。

(株)飯田鉄工 常務取締役 飯田隆雅氏

働き手から選ばれる企業へ

○取り組むきっかけ

- ・今後、企業は持続的な成長、組織としての生産性の向上という2つのテーマと同時に向き合う姿勢が必要となってくる。
- ・そういった中で、事業戦略のシートフォーム をセミナーで拝見したことがきっかけとなった。

○策定に取り組んでみて

- ・社員からも選ばれる会社でなければならない。 労働力不足が本格化する将来、今までの労働 集約型だけのビジネスモデルでは、人材不足 倒産などが発生する時代になる。
- ・今後、向き合うべき生産性の向上とは、将来 やビジネスモデルを創造する戦略を実施して いく事が重要である。

● 戦略を策定し、実行フェーズに移行している企業74社のアンケート回答結果

Q:事業戦略に取り組んだきっかけは?

目指すべき会社のビジョンを明確にし、現在の取組みの方向性を再認識したかったから	43社
自社を取り巻く状況や環境変化に対応するための新たな事業計画が必要と感じたから	15社
将来への漠然とした不安や危機感を打破したかったから	8社
社員や取引先等に対して会社としての方向性を示すためのツールにしたかったから	6社
その他	2社

7月の行事予定				
6	金	人材確保委員会 工業系高校等の就職指導担当者と意見交換会		
11	水	第2回人材育成委員会・人材育成研究会		
13-14	金・土	事業戦略策定促進事業 合宿セミナー		
25	水	県・産業振興センター合同意見交換会		
27	金	H30年度 高知県溶接技術コンクール表彰式		

県・産業振興センター合同意見交換会

日時:7月25日(水)

場所:城西館

●理事会 15:30~16:10

●意見交換会 16:20~17:50

(協議内容)

・経営力の強化

・人材確保・育成と働き方改革

· 生産性向上 等

●懇親会 18:00~

《編集後記》人材確保は争奪戦の状況になっていると言われ、今回の情報交換会への参加企業の多さもその一端なのかと思われます。プレゼンでは、来春の採用予定者数の説明の時には熱心にメモる先生の姿が目につきました。事業戦略の策定。きっかけはあってもその先、策定実行に踏みこませるものは何か、たんに決断力という言葉ですまされるものなのか? とにかく、時代は変わっている! (にしうち)